

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 特定非営利活動法人

国際交流の会とよなか(TIFA)

1. 事業名称 TIFA にほんご学習実践プログラム

2. 事業の目的

地域の外国人が出来るだけ早く地域になじみ、必要な人材になれるよう、日本語習得を手伝う。

3. 事業内容の概要

パワーポイントによる生活場面別日本語教材を開発し、指導者(外国人)養成講座では、この教材の活用方法を指導し、日本語教室でも活用しながら、開発プログラムへフィードバックし、より適切な教材開発を目指す。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開催日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	7月4日 13時～16時	3時間	カフェ・サパナ	サマンティカ・ロクガマゲ、岡田勝美、石墨方子、中田峯代、永田良昭、鵜川まき、田坂百合子、葛西芙紗	* 今年度のプログラムについて * 指導者、補助者、教材作成者の確認 * 学習者の募集方法と状況検討 * 作成教材への要望	* 日本語教室は指導者石墨、中田を中心に学習者のニーズに添ったきめ細かな指導をする。* 人材育成は、外国人の指導者養成と作成中教材の指導法を研修するGに分かれて実施。* 教材作成に対する要望を聞く。
2	9月3日 13時～16時	3時間	カフェ・サパナ	サマンティカ・ロクガマゲ、岡田勝美、石墨方子、中田峯	* 中間報告と問題点の検討	1, 学習者がすこし入れ替わった。2, 人材育成講座の外国人グループは日本語の学習に力が入っている。教材活用Gは、様々な意見が出ている。3, 教材作成の方

				代、田坂百合子、 葛西芙紗		は、盛り込む内容が絞り切れていない。使 いやすく地域の生活者の視点を大切に、指 導者が使いやすい物にする。
3	12月4日 13時～16 時	3 時 間	カ フ ェ・サ パナ	サ マ ン テ ィ カ・ロクガマ ゲ、岡田勝美、 石墨方子、中田 峯代、鶴川ま き、葛西芙紗	*教材作成の進捗 状況 *人材育成講座の 問題点 *日本語教室の状 況	*教材作成プログラム・編集会議が予定 以上に必要になり20回を超えている が、超過の費用は出ない。もうまともに 入ってほしい。副教材を3カ国語で・ と考えていたが、英語とネパール語も追 加する事になった。
4	2月19日 13時～16 時	3 時 間	カ フ ェ・サ パナ	サ マ ン テ ィ カ・ロクガマ ゲ、岡田勝美、 石墨方子、中 田峯代、田坂 百合子、葛西 芙紗	*今年度の事業の 反省 *今後の課題	*3事業の連携体制を作る必要がある。 *人材の養成研修の人たちの活躍の場 を開拓する。 *作成教材が学ぶ側にとって大いに役 立つよう、今後も学習者の意見を取り入 れ改良していく。



5. 日本語教室の設置・運営

- (1) 講座名称 TIFA ナイトにほん語交流サロン
- (2) 目的・目標 夜間にしか機会のない外国人に日本語習得の機会を作り、出来るだけ早く
地域社会にとけ込み、活動の場を広げ、仕事が出来るようにする。
- (3) 対象者 夜間に日本語を勉強して、活躍したい人、地域社会の仲間に入りたい人。
- (4) 開催時間数(回数) 64 時間 (全32 回)
- (5) 使用した教材・リソース 文化庁カリキュラム案、にほんごこんにちは、現代生活にほん
ごカタログ、漢字ブック、教科書、地域情報紙、保育所情報紙 等

(6) 受講者の総数 28 人

(出身・国籍別内訳) インドネシア 5人、ペルー3人、ブラジル2人 中国 5人 韓国2人 ベトナム3人 フィリピン1人 ナイジェリア1人、モルドバ1人、インド1人、チリ 1人 アルジェリア1人 カナダ 1人 アメリカ1人

(7) 受講者の募集方法

ちらし配布、候補者に送付、当会ホームページで募集、外国人グループ(インドネシア、韓国、ネパール、ベトナム、フィリピンなど)へ広報

(8) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成 24 年 6月26日 19:00～ 21:00	2 時間	とよなか国際交流センター	13	インドネシア(5)、 ペルー(2)ブラジル (2)ナイジェリア (1)中国(2)カナダ (1)	①ひらがなの読み書きと基本的な日常会話 ②漢字の読み書きと文化庁カリキュラム案Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ③みんなの日本語と文化庁カリキュラム案、学習者が持参した資料など ④小学校教科書・通信文とカリキュラム案から ⑤現代生活日本語カタログを中心に⑥日本語検定試験対応⑦新聞を読む・フリートーク	① ～⑦を学習者の希望とレベルに応じて小グループで対応 同 上
2	平成 24 年 7月3日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	13	インドネシア(5)、フィリピン(1)ペルー (1)ブラジル(2)ナイジェリア(1)中国 (2)ベトナム(1)		
3	平成 24 年 7月10日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	11	インドネシア(5)ブラジル(2)中国 (2)ペルー(1)ナイジェリア(1)		
4	平成 24 年 7月17日 19:00～ 21:00	2 時間	同上		インドネシア(5)ブラジル(2)中国 (2)ペルー(1)ナイジェリア(1)		

5	平成 24 年 7月24日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	12	インドネシア(4) ブラジル(2)中国 (2)ペルー(2)ナ イジェリア(1)		文字の勉強、漢字の練習な ど個別対応の後用意した食 事をしながら、フリートーク、
6	平成 24 年 9月4日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	15	インドネシア(5)ブ ラジル(2)中国(2) ペルー(1)フィリピン(1)インド(1)モ ルドバ(1)アメリカ (1)カナダ(1)	同 上	文字の勉強、漢字の練習、 情報誌、テキスト、新聞など レベルに合わせた媒体で個 別対応。
7	平成 24 年 9月11日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	13	インドネシア(5)ブ ラジル(2)中国(2) ペルー(1)フィリピン(1)ニュージーラ ンド(1)モルドバ (1)	同 上	⑦を学習者 の希望とレベルに応じて 小グループで対応
8	平成 24 年 9月18日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	12	インドネシア(5) ブラジル(2)中国 (2)ペルー(1)フ ィリピン(1)モルド バ(1)	同 上	同上
9	平成 24 年 9月25日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	11	インドネシア(4)ブ ラジル(2)ペルー (1)中国(2)ベトナム(1)モルドバ(1)	同 上	① ⑦を習 者の希望とレベルに応じて 小グループで対応
10	平成 24 年 10月2日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	11	インドネシア(4) ブラジル(2)中国 (2)ベトナム(1) モルドバ(1)ベト ナム(1)	同 上	同上
11	平成 24 年 10月9日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	12	インドネシア(4)イ ンド(1)フィリピン (1)韓国(1)ブラジ ル(2)中国(2)ペ ルー(1)	同 上	同上

12	平成 24 年 10 月 16 日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	10	インドネシア(4)ブ ラジル(2)中国(2) ペルー(2)	同 上	同上
13	平成 24 年 10 月 23 日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	10	インドネシア(4)イ ンド(1)フィリピン (1)韓国(1)ブラジ ル(2)中国(1)	同 上	①～⑦を学 習者の希望とレベルに応 じて対応
14	平成 24 年 10 月 30 日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	13	インドネシア(4)イ ンド(1)韓国(1)中 国(2)モルドバ(1) チリ(1)ペルー(3)	①～⑦を学習者の レベルに応じて	ひらがな・カタカナの勉強、 漢字の練習、情報誌、テキ スト、新聞などレベルに合わ せた媒体で個別対応。
15	平成 24 年 11月6日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	14	インドネシア(3)イ ンド(1)フィリピン (1)中国(3)モルド バ(1)ペルー(3)ア ルジェリア(1)チリ (1)	同 上	同上
16	平成 24 年 11月13日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	11	インドネシア(3)イ ンド(1)フィリピン (1)韓国(1)ブラジ ル(2)中国(1)モ ルドバ(1)ペルー (1)	同 上	同 上
17	平成 24 年 11月20日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	12	インドネシア(4)ペ ルー(2)ブラジル (2)中国(2)モルド バ(1)ベトナム(1)	同 上	同 上
18	平成 24 年 11月27日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	11	インドネシア(4) ペルー(2)ブラジ ル(2)中国(1)モ ルドバ(1)ベトナ ム(1)	同 上	同 上
19	平成 24 年 12月4日 19:00～	2 時間	同上	13	フィリピン(1)インド (1)アルジェリア(1) インドネシア(3)ペル	同 上	同 上

	21:00				ー(2)ブラジル(2)チ リ(1)中国(2)		
20	平成 24 年 12月11日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	8	インドネシア(3) フィリピン(1)イン ド(1)アルジェリ ア(1)チリ(1)ベ トナム(1)	同 上	同 上
21	平成 24 年 12月18日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	15	インドネシア(3)フ ィリピン(1)インド (1)アルジェリア (1)チリ(1)ペルー (3)ベトナム(1)中 国(4)	同 上	同 上
22	平成 25年 1月8日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	11	フィリピン(1)イン ド(1)アルジェリ ア(1)ペルー(3) 中国(3)チリ(1) ベトナム(1)	同 上	同 上
23	平成 25年 1月15日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	12	中国(3)韓国(2) フィリピン(1)ペ ルー(3)インド (1)アルジェリア (1)チリ(1)	同 上	同 上
24	平成 25年 1月22日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	9	韓国(2)フィリピ ン(1)ペルー(3) インド(1)アルジ ェリア(1)チリ(1)	同 上	同 上
25	平成 24 年 1 月29日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	10	中国(1)韓国(1)フ ィリピン(1)ペルー (3)ベトナム(1)イ ンド(1)チリ(1)ア ルジェリア(1)	同 上	同 上
26	平成 25年 2月5日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	12	中国(3)韓国(2) フィリピン(1)ペ ルー(3)ベトナム (1)インド(1)チリ (1)	同 上	同 上

27	平成 25 年 2 月 12 日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	11	中国(2)韓国(1) フィリピン(1)ペ ルー(3)ベトナム (2)インド(1)チリ (1)	同 上	同 上
28	平成 25 年 2 月 19 日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	12	中国(3)韓国(1)フ ィリピン(1)ペルー (3)ベトナム(2)イ ンド(1)チリ(1)	同 上	同 上
29	平成 25 年 2 月 26 日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	12	中国(3)韓国(1) フィリピン(1)ペ ルー(3)ベトナム (2)インド(1)チリ (1)	同 上	同 上
30	平成 24 年 3 月 5 日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	12	中国(2)韓国(1)フ ィリピン(1)ペルー (3)ベトナム(2)イ ンド(1)チリ(1)ア ルジェリア(1)	同 上	同 上
31	平成 25 年 3 月 12 日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	12	中国(2))フィリピ ン(2)ペルー(3) ベトナム(2)イン ド(1)チリ(1)ブラ ジル(1)	同 上	同 上
32	平成 25 年 3 月 19 日 19:00～ 21:00	2 時間	同上	12	中国(3)フィリピン (1)ベトナム(3)ベ トナム(2)インド (1)チリ(1)アルジ ェリア(1)	同 上	同 上

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)



学習者のレベルとニーズに合わせて①～⑦のような内容で、実施。

看護師を目指す研修生や日本語検定1級をとらなければ、大学院へ入学できない学習者、日本語が十分でないため、高校受験がむずかしい生徒などもいて、それぞれに合った対応をした。

- (10) 目標の達成状況・成果 日本語検定1級がとれて、めでたく大学院へ入学できた。

インドネシアの研修生は、受験を頑張った。

高校受験生は、第1希望ではないが、めでたく高校合格。

- (11) 改善点について 広報をもっと効果的にして、必要としているが、来ていない人たちに呼びかけたい。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

- (1) 講座名称 TIFA にほん語指導者養成講座

- (2) 目的・目標 母国出身の後輩たちに日本語を指導し、かれらの力になる意欲のある人の日本語力をつける。

今年度作成の学習教材の活用法と指導法を学ぶ。

- (3) 対象者

① 現在日本語ボランティアまたは日本語ボランティア希望者

②外国人で、ある程度日本語が出来、後輩を指導する意欲のある人。

- (4) 開催時間数(回数) 52 時間 (全 26 回)

- (5) 使用した教材・リソース

①「文化庁カリキュラム案」、作成中の「くらしのにほんごとよなか」

②「文化庁カリキュラム案」、「くらしのにほんごとよなか」、「にほんご春夏秋冬」

「現代生活・日本語カタログ」おおさか識字日本語センター発行

- (6) 受講者の総数 18 人

(出身・国籍別内訳

日本 5人, インドネシア 1人, ベトナム 4人, ロシア 1人, アメリカ 1人, フィリピン 2人, ネパール 1人, モルドバ 2人, 韓国 1人)

- (7) 受講者の募集方法

過去日本語教室で勉強し、今後後輩のリーダー、日本語指導者として活躍を考えている外国人と、日本人で日本語ボランティアとして活動している人、これからしたい人に勧めた。

(8) 養成・研修の具体的内容

開催日	時間数	参加人数	国籍(人数)	取り組みのテーマ	授業概要
7月2日(月) 10時～12時	2時間	11	ベトナム(3)、モルドバ(1)、ロシア(1)、インドネシア(1)、ネパール(1) 日本(4)	①日本語指導力をつける。	① 日本語教授法の基礎知識 ② 入所・入園 保育所編
7月9日(月) 10時～12時	2時間	12	アメリカ(1)ロシア(1)モルドバ(1)インドネシア(1)ベトナム(4) 日本(4)	②外国人指導者の日本語力を上げる。	1, 教材の基礎知識 ① 入所・入園:幼稚園編
9月3日(月) 10時～12時	2時間	11	アメリカ(1)ロシア(1)モルドバ(1)インドネシア(1)ベトナム(4) 日本(4)	③作成中の PPT 教材へのフィードバック	① PPT 教材の使い方1 ② 健康安全に暮らす。医療機関で治療を受ける
9月10日(月) 10時～12時	2時間	12	アメリカ(1)ロシア(1)モルドバ(1)インドネシア(1)ベトナム(4) 日本(4)	同上	① PPT 教材の使い方2 ②健康安全に暮らす。問診票の書き方
9月17日 月 10時～12時	2時間	12	アメリカ(1)ロシア(1)モルドバ(1)インドネシア(1)ベトナム(4) 日本(4)	同上	① 暮らしのにほんごとよなかの使い方 ② 健康安全に暮らす・体の部分や内臓
9月24日 月 10時～12時	2時間	11	アメリカ(1)ロシア(1)モルドバ(1)インドネシア(1)ベトナム(4) 日本(4)	同上	① 「暮らしの日本語とよなか」の構成 ② 健康安全に暮らす、薬を利用する。
10月1日 月 10時～12時	2時間	11	アメリカ(1)ロシア(1)モルドバ(1)インドネシア(1)ベトナム(4) 日本(4)	①にほんごボランティアの指導法研修	① 暮らしの日本語とよなか消費 A の使い方 I ② 健康安全に暮らす。薬のラベル・袋を読んで理解する。
10月15日 月 10時～12時	2時間	11	アメリカ(1)ロシア(1)モルドバ(1)インドネシア(1)ベトナム(4) 日本(4)	②外国人指導者の日本語レベルアップ	① 消費 A の使い方 II ② 健康安全に暮らす。薬を利用する。処方箋
10月22日 月 10時～12時	2時間	10	アメリカ(1)ロシア(1)モルドバ(1)インドネシア(1)ベトナム(4) 日本(4)	① ②③	①消費 B の使い方 ② 健康安全に暮らす。健康に気をつける。
10月29日 月	2	11	アメリカ(1)ロシア(1)モルドバ	③ 作成中	① 消費 C の使い方

10 時～12 時	時 間		(1)インドネシア(1)ベトナム (4)日本(4)	教材の試用	② 健康安全に暮らす。食 べ物のラベルを読む。
11月5日(月) 10 時～12 時	2 時 間	10	アメリカ(1)ロシア(1)モルドバ (1)インドネシア(1)ベトナム (4)日本(4)	① ②③	1, 消費 A～C のまとめ ② 健康に暮らす。事故に 備え・対応する。
11月12日 月 10 時～12 時	2	11	アメリカ(1)ロシア(1)モルドバ (1)インドネシア(1)ベトナム (4)日本(4)	同上	① PPT 教材について意見 交換 ② 事故に備え対応する —防災対策
11月19日 月 10 時～12 時	2	11	アメリカ(1)ロシア(1)モルドバ (1)インドネシア(1)ベトナム (4)日本(4)		① PPT 教材作成上の課題 ② 災害の備え対応する。 地震
11月26日 月 10 時～12 時	2	11	アメリカ(1)ロシア(1)モルドバ (1)インドネシア(1)ベトナム (4)日本(3)		① 自己紹介 A の使い方 ② 健康安全に暮らす。 災害に備え対応する。
12月3日(月) 10 時～12 時	2	11	アメリカ(1)ロシア(1)モルドバ (1)インドネシア(1)ベトナム (4)日本(3)	同上	① 自己紹介 B の使い方 ② 災害の備え対応する。 地震の時どうしますか？
12月10日 月 10 時～12 時	2	12	アメリカ(1)ロシア(1)モルドバ (1)インドネシア(1)ベトナム (4)日本(4)	同上	① 交通・移動 A の使い方 ② 災害の備え対応する・ 火事
12月17日 (月) 10 時～12 時	2	11	アメリカ(1)ロシア(1)モルドバ (1)ネパール(1)インドネシア (1)ベトナム(3)日本(3)	同上	① 交通・移動 B の使い方 ② 活の日本語: 冬・年末
1月7日(月) 10 時～12 時	2	12	アメリカ(1)ロシア(1)ネパール (1)インドネシア(1)ベトナム (4)韓国(1)日本(3)	同上	① 交通・移動 C の使い方 ② 生活の日本語冬・新年
1月21日 月 10 時～12 時	2	12	アメリカ(1)ロシア(1)ネパール (1)インドネシア(1)ベトナム (4)韓国(1)日本(3)	① ②③	② 通・移動 A～C のまとめ ③ 火事に備えよう・防災訓練の 経験談
1月28日 月 10 時～12 時	2	12	アメリカ(1)ロシア(1)ネパール (1)インドネシア(1)ベトナム (4)韓国(1)日本(3)	① ③	② 居住マナーA の使い方 ③ 住居を確保・維持する。引っ越 し
2月4日(月) 10 時～12 時	2	11	アメリカ(1)ロシア(1)フィリピン (1)ネパール(1)インドネシア (1)ベトナム(2)韓国(1)日本 3	同上	① 実授業使用のフィード バック ② 電気・ガス・水道の申し込 み方法・参加者の市・町・ 村の方法

2月18日 (月) 10時～12時	2	11	アメリカ(1)ロシア(1)フィリピン (1)ネパール(1)インドネシア (1)ベトナム(2)韓国(1)日本 3	同上	① 居住マナーBの使い方 ② 請求書を見てみよう。
2月25日 (月) 10時～12時	2	12	アメリカ(1)ロシア(1)フィリピン (1)ネパール(1)インドネシア (1)ベトナム(2)韓国(1)日本 4	同上	① PPT教材について意見交換 ② 事故に備え対応する 防災対策についての意見交換
3月4日(月) 10時～12時	2	11	アメリカ(1)ロシア(1)フィリピン (1)ネパール(1)インドネシア (1)ベトナム(2)韓国(1)日本 3	同上	① 講座の振り返り ② 買い物をしよう。参加者の行く スーパーの情報。
3月11日 (月) 10時～12時	2	11	アメリカ(1)ロシア(1)フィリピン (1)ネパール(1)インドネシア (1)ベトナム(2)韓国(1)日本 3	同上	① PPT教材で指導する。 ② 買い物での表現・商品 の種類
3月18日 (月) 10時～12時	2	11	アメリカ(1)ロシア(1)フィリピン (1)ネパール(1)インドネシア 1ベトナム(2)韓国(1)日本 (3)	同上	① PPT教材で指導する。 ② 参加者の家庭でよく使 われている食品

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)



① グループの様子



② グループの様子

授業内容

指導者養成講座は、サマンティカ・ロクガマゲ指導者による、外国人の日本語指導者養成講座とYWCA 日本語教師の岡田勝美を中心にした、日本人ボランティアと外国人有志の今年度作成の日本語学習教材を試用しながら、指導方法を研修するグループに分けて実施。

(10) 目標の達成状況・成果

外国人の日本語指導者養成講座は、受講者自身の日本語力アップの希望が多かったので、日本語の授業になった面が多いが、受講者から小学校の通訳、国際理解授業へ派遣も出来た。

(11) 改善点について

外国人で指導者を目指す学習者は、それぞれ目的が違い、レベルも違うので、指導者も日本語指導技術だけでなく、学習者のニーズに答えられるような柔軟な対応が出来るようにする。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称 「くらしのにほんご とよなか」

(1)主教材 パワーポイント教材「くらしのにほんご とよなか」

(2)副教材 紙資料「くらしのにほんご とよなか」

(2) 対象 学習対象者:地域に生活する外国人

教材使用対象者:(1)ノンネイティブの日本語教師

(2)日本人ボランティア日本語教師

(3) 目的・目標 本プログラムの「日本語教育を行う人材の養成・研修」を受けたノンネイティブの日本語教師や日本人のボランティア教師が使いやすかつ学習する外国人にとってわかりやすいパワーポイント教材の開発。

(4) 構成 シラバス:文化庁『「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案』前半の内容に沿ったシチュエーションシラバス。なお、後半は次年度の活動で作成予定。

教材の構成:(1)主教材 PPT教材「くらしのにほんご とよなか」

(2)副教材 紙資料「くらしのにほんご とよなか」

(5) 使い方 授業は(1)のPPT教材を使って行う～基本的にはマウスをクリックしていただくだけで授業が完結するように作られている。

学習者の復習や予習などのために(1)の教材をまとめ、また地域生活の情報などを紙資料として作成した。

なお、ノンネイティブの教師が自国から来日する後輩にさらにわかりやすく教えられるように各言語版副教材も作成した。

例:英語版は成果物の副教材をご参照ください。

(6) 具体的な活用例

【1】クラス授業 プロジェクターを使用してクラス授業を行う

この場合、スクリーンはホワイトボードが望ましい。

タスクとして行う活動(アンケート結果など)を直接学習者に記入させることができるため。(使用実績に基づく)

【2】少人数のクラス テレビ(家庭用のテレビを含む)にコードで接続してPPTを使い授業を進める。

【3】3～4人のクラス 直接PC画面で進めることも可能

(日本語学校で4人のクラスで使用実績あり、十分可能)

ノンネイティブの教師が自国の学習者を自宅に招いて教えるケースも想定。

【4】プライベートレッスン PC使用

【5】自習用 PC使用

(7) 成果物の添付 上記(1)および(2)の教材。

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

地域の外国人が出来るだけ早く地域になじみ、必要な人材になれるよう、日本習得を手伝う。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

学習教材「くらしのにほんご とよなか」は、各クラスで検証しながら、作成することが出来て良かったが、出来上がった物をもっと多くの場で、使ってみながら、改良を加えていきたい。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

作成した学習教材は、カリキュラム案を実際にどう教えるか？を考えて、カリキュラム案を元に、誰もが教えやすい形にした。地域の生活者は、さまざまなニーズを持って勉強に来るため、カリキュラム案に基づき、他のいろいろな媒体も使った。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

地域の日本語教師・日本語教室と連絡を密にし、学習者の要望も入れて実施。

(5) 改善点、今後の課題について

来年度は、委託事業ではなく、独自で継続することになるが、教材はより良い物に改善しながら、継続していく予定。

今年度の取り組みで作成した教材は、会社・領事館での研修に活用することになり、地域の財産になると思う。